

大竹利信 (公明党)

ポートルース蒲郡に

一時避難のための備蓄品を

**問** 今年度ポートルース蒲郡が津波避難ビルに指定された。災害時には帰宅困難者や津波の避難で多くの方が一時避難をされると思われるが、避難のための備蓄品を用意するのか伺う。

**答** ポートルース浜名湖では避難ビルに指定された水、毛布、乾パンなど用意している。蒲郡も今年度中に防災課と相談し配備して



防災備蓄食料

いきたいと考えている。

感震ブレーカー設置に補助金を

**問** 大規模地震時の火災防止策として感震ブレーカーの設置に補助金を出してはどうか。

**答** 横浜市が補助制度を導入している。感震ブレーカーのメリット、デメリットを検討し、補助の必要性や効果を研究したい。

伴 捷文 (自由クラブ)

三河湾浄化のためのごみ処理を

**問** まんが漁などで網にかかったごみを船で持ち帰った場合、責任を持って処理してもらえよう県にお願いできないか。

**答** 県や国へ三河湾の浄化をお願いし、豊かな海ときれいな海にすることを積極的に検討していきたい。

鹿島バイパスに信号機の新社を



**問** ショッピングモールのクラスポとカインズ出入り口に安全対策のため信号機を設置できないか。

**答** 大きな問題点として国道との接続地点をどこにするのか。市道認定する道路をどこに接続させるのかがある。県には国道247号中央バイパスの早期開通や鹿島バイパスの4車線化と合わせて信号設置を要望していく。

柴田安彦 (無党派)

蒲郡IC供用に伴う周辺住民への影響と対策

**問** オレンジロード沿いで振動や騒音の状況は

どのようか。

**答** 環境基準では騒音は昼間・夜間ともに超えており、重く受けとめ、至急対処したいと考えている。

**問** 交通量が1日片側で3400台とすると、今回提出された補正予算の区画整理地内の舗装整備は舗装の厚さ20cmが必要だが、なぜ10cmとするのか。

**答** 補助事業を行う場合、地盤の地質調査を行いながら一番経済的な施行となる。今の段階で舗装強度を上げることは難しい。

**問** 騒音規制法の要請基準を超えた場合、市長は公安委員会に道路交通法による措置を要請することになっているが要請したか。

**答** まず、市としてできることをやってから公安委員会に要請したい。

青山義明 (自由クラブ)

ポートルース蒲郡の施設について

**問** 駐輪場の屋根がないが、今後設置する予定はあるのか。



ポートルース蒲郡の駐輪場

**答** 建築確認申請が再度必要となるが、平成27年度中に施行したい。

柏原地区企業用地造成について

**問** 現在の状況はどのようなか。

**答** 企業庁が示した開発6要件のうち4件はクリアしたと捉えているが、用地取得見込みと採算性の確保が課題である。

**問** 企業庁が行う開発意思決定とはどのようなもので、またどうすれば意思決定に至るのか。

**答** 意思決定とは企業庁が開発事業の対象として位置づけることであり、地権者の同意と採算性がとれることが必要である。